

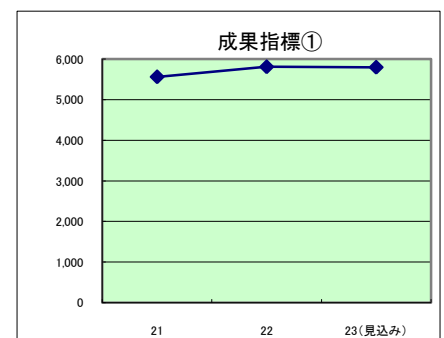
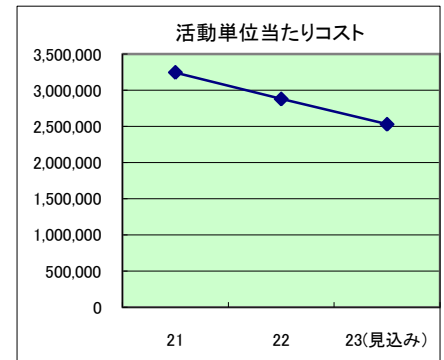
平成 23 年度 事務事業評価シート(平成 22 年度実施事業)

整理番号

教生ス03

事務事業名		各種スポーツ大会等開催業務		会計	1	一般会計	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	4	魅力ある地域社会を拓く活力あるまち	款	10	教育費	
	施策(節)	4	市民スポーツ・レクリエーション	項	6	保健体育費	
	施策の方向	(1)	スポーツ・レクリエーションの推進	目	1	保健体育総務費	
	関連する計画等			事業	2	体育振興	
作成部署				教育委員会事務局生涯学習室 スポーツ振興課			
連絡先				072 - 958 - 1111 内線 4413			
事業の目的	対象(誰を・何を)						
	市民						
	意図(どういう状態にしたいのか)						
事業の内容	スポーツを通して、市民の健康・体力づくりと参加者相互の親睦・交流を図る。						
	母の日ファミリーバレーボール大会、3ON3バスケットボール大会、ふれあいドッジボール大会、フットサル大会、市民体育祭、市民マラソン大会を開催。一部、施設管理委託業者に委託し、スポーツ関係団体の協力のもと各大会を実施している。						
根拠法令等		スポーツ振興法					
事業開始時期		☒ 昭和 年開始 ☐ 明確にはわからない ☒ 平成 年開始 ☐ 市制施行(昭和34年)以前より行っている					
事業開始時からの状況変化							
市民や議会の要望							
実施手法		☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()					
委託先		☒ 市外郭団体委託 名称((財)羽曳野市施設管理公社) ☐ 民間委託 ☐ その他		委託内容			
		各種スポーツ大会に係る業務					

区 分		21年度	22年度	23年度	
		(実績)	(実績)	(見込み)	
事業費【1】 (千円)		9,567	11,303	12,087	
人件費【2】 (千円)		3,420	3,096	3,096	
職員数	正規職員	0.36 人	0.33 人	0.33 人	
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	嘱託職員	0.30 人	0.30 人	0.30 人	
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間	
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		12,987	14,399	15,183	
財源内訳	国費 (千円)				
	府費 (千円)				
	市債 (千円)				
	その他 (手数料・使用料等) (千円)	115	141	170	
	一般財源 (千円)	12,872	14,258	15,013	
活動指標(事業の活動実績)【B】		単位	21年度	22年度	23年度(見込み)
① 大会の開催回数		回	4	5	6
②					
③					
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】 ①)		3,246,750 円	2,879,800 円	2,530,500 円	
市民1人当たりコスト (【A】 / 人口)		109 円	122 円	129 円	



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		単位	指標設定の考え方		平成21年度	平成22年度	平成23年度
	①	全大会の参加者数 (式)	人	全大会の参加者数の合計	目標	7,000	5,500	達成率(%)
					実績	5,563	5,811	105.7%
	②	市民体育祭の参加者数 (式)	人	市民体育祭の参加者数	目標	5,000	4,200	達成率(%)
					実績	4,258	3,833	91.3%

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	市民へのスポーツの普及・振興をするために、今後に必要な事業・業務である。
	○	○				○	○				

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い	☒	☐	☐	体育協会・体育指導委員協議会・スポーツ少年団等の社会体育関係団体を中心に、社会教育関係団体等の協力を得て実施。長年継続している事業もあり、地域住民の認知度も高く、必要な事業である。
		市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☒	☐	☐	
		社会情勢の変化に対応している	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業と重複していない	☒	☐	☐	
		事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
		緊急性が認められる	☐	☐	☒	
	効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	☒	☐	☐	事業によっては、参加費を負担しているが、民間事業者とも連携を取り、現物提供等による経費削減を図り、各種団体と連携を取りながら、効率よく実施していきたい。
		受益者負担の割合は適当である	☒	☐	☐	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☐	☒	☐	
		簡略化できる方法や手段がない	☒	☐	☐	
		市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	☒	☐	☐	
	有効性	上位の施策(目的)が明確である	☒	☐	☐	競技スポーツ、生涯スポーツ両方の要素があり、有効な事業である。
		上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	☒	☐	☐	
		成果を向上させる余地がない	☒	☐	☐	
		市民の視点にたってサービスが提供されている	☒	☐	☐	
	協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☒	☐	☐	実行委員会形式をとっている事業もあり、運営には、各種団体の協力を得ている。
		事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☒	☐	☐	
		事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☒	☐	☐	
		事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☒	☐	☐	
	達成度	成果指標の目標値は適正である	☒	☐	☐	全体の参加者数は、前年度を上回った。
		成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	
		成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	

担当部局評価	総合評価	
	☐ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☒ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
	評価の理由	
	市民に定着している事業もあり、市民の健康・体力づくりになくてはならない事業である。	
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)	
	財政健全化計画に基づき、民間事業者とも連携を取りながら、現物提供等による経費削減を図り、各種団体と連携を取りながらより一層発展していくように取り組んでいく。	
行革本部評価	総合評価	
	評価理由・意見	
	☒ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	